

予算常任委員会

12月定例会で審議された補正予算の主な内容

主な歳出	花葉館施設整備事業費	2,997万円	花葉館の客室空調設備の更新工事費
	公立学校施設冷暖房設備対応臨時交付金事業費	3億5,775万円	市内の各小中学校の教室等へエアコンを設置
	育英奨学基金繰出金	2,600万円	仙北市育英奨学金の基金不足による一般会計から基金への繰出し

本会議・予算委員会での質疑

花葉館をはじめとした第三セクターの修繕工事 今後一体どこまで費用をつぎ込むのか

質問 花葉館については建物の築年数も経過し、今年になってからも、多額の経費をかけて様々な改修を行っている。今回の客室の空調設備更新は、緊急という理由ではあるが、花葉館のみならず、三セク施設の修繕等の在り方について疑問だ。もっと計画的に行われるべきではないか。

答弁 花葉館は今年に入り既に約1,400万円の修繕を行っている。それに加えて今回の工事が追加となる。空調設備工事は平成31年度の計画であったが、緊急を要するため前倒した。今後市内第三セクター施設については綿密な修繕計画を設定して対応する。

小中学校へのエアコン設置 来年夏に間に合わないのか？

質問 学校へのエアコン設置については、この夏の猛暑により国が緊急に補正予算措置したものであるが、市の工程表によると、工事完了が31年8月末の予定となっているため、結局来年の夏はエアコンが使えない。工期を早め夏に間に合わせるべきではないか。

答弁 国では来年の8月までの設置を求めており、それに合わせて工期を8月末に設定した。夏に間に合わせるとなると、6月には完了しなければならないが、全国的に同様の工事が始まるため心配である。早期の設置完了に向けて、できる限りの取り組みを行う。

育英奨学基金の資金不足 厳しい指摘が相次ぐ

育英奨学基金が不足し今後の貸付ができなくなる恐れがあるとし、一般会計から2,600万円を繰入れ、学生の奨学資金に充てるとする補正予算案と基金条例改正案が提案されました。この問題について議員からは厳しい指摘が相次ぎました。

質問 なぜ資金が不足する事態となったのか？また、仮に今回2,600万円を繰入れしない場合、今年度末で基金の残高が15万円程度しかなくなる。そもそもこの事態が判明したのはいつなのか。また、どのような経緯で分かったのか。

答弁 理由としては、貸付額が返済額より大幅に多くなったことが挙げられる。ゲットバック奨学資金制度など新たな取り組みが始まり、利用学生が増加した。滞納については約2,500万円程度となっているが、今後徴収に取り組む。残高不足は、12月上旬に監査委員等の指摘により判明した。毎月の資金収支を確認していればその時点で分かったことであるが、チェックを怠ってしまった。平成28年度にはまだ現金残高があり、そこしか見ておらず大きなミスがあった。非常に申し訳なく深く反省している。

質問 貸付金に対し返済額が少ない現状がこのまま続く場合、今回基金を追加しても、また同様に不足する事態となる。今後どのようにこの制度を運営していくのか。改善策なしに、足りなくなればまた一般財源から予算をつぎ込んでいくのか。

答弁 総合教育会議を開催し制度を検討する。財源確保策も様々な角度から考えたい。職員体制やチェック機能の強化も図る。今後の基金の在り方について、継続可能な方策を探る。

仙北市育英奨学基金の増額 賛成13 反対4 (賛成多数で可決)

賛成討論

- ◇大切な教育資金であるにも関わらず教育委員会の姿勢は誠に遺憾
- ◇奨学金は子供達のためにも今後とも絶やすことのないよう意見を付す。
- 1、奨学金事務の厳格化と管理体制を強化すること
- 2、滞納について正しく対策を講じること
- 3、基金提供者に対する説明責任を果たすこと
- 4、今後の基金原資の確保や基金増額に取り組むこと

反対討論

- ◇1人の職員に任せきりにし管理職のチェックが怠られていたことは誠に遺憾。
- ◇年内にも総合教育会議を開催した上で、基金提供者にも説明するべき。
- ◇その上で年明けに臨時議会を開くべき。